

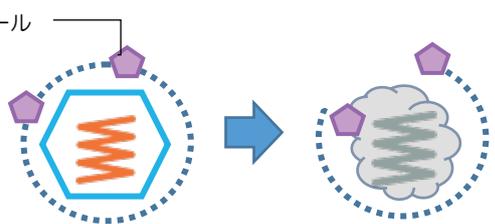
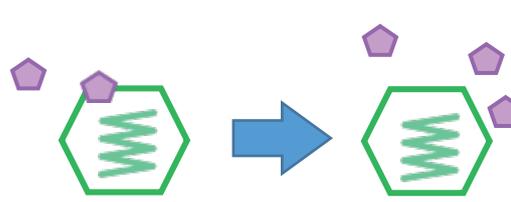
## アルコール消毒が効きにくいウイルス・菌がある！？

感染管理認定看護師

のべち  
延地 まり  
真理

新型コロナウイルスの流行以降、アルコール消毒での除菌が私たちの生活に広く定着してきています。消毒に用いるアルコールは、70%のエタノールなどが使用されています。しかし、このアルコール消毒が効きにくいウイルス・菌がいることを皆さんご存知ですか？

ウイルスには、「エンベロップ」と言われる脂質からなる膜をもっているウイルスと、膜をもっていない「ノンエンベロップ」と言われるウイルスがあります。

エンベロップウイルス	ノンエンベロップウイルス
	
アルコールが膜を壊してウイルスにダメージを与える	膜がなく、 <u>アルコールに強い</u>
(代表的なウイルス) ・コロナウイルス ・インフルエンザウイルスなど	(代表的なウイルス) ・ノロウイルス ・ロタウイルスなど

このエンベロップは、アルコールや手洗い石鹸などにより、エンベロップの脂質が溶かされ、ウイルスの感染力が失われます。しかし、ノロウイルス等はエンベロップをもたないため、ウイルスの表面が強固なタンパク質の殻で被われており、アルコール消毒が効きにくいのです。そのため、ノロウイルス等の感染性胃腸炎では次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が必要になります。このように、ウイルス・菌によって効果を発揮する消毒剤が異なります。

ここで、感染性胃腸炎の感染対策をお伝えします。

- ・便や嘔吐物の処理をした後は、石けんと流水で30秒以上、手を洗いましょう。
- ・便や嘔吐物の処理には、0.1%次亜塩素酸ナトリウムで10分の消毒をしましょう。

また、トイレのドアノブや便座などの環境には、0.02%次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。消毒する場所や対象に応じて、適切な消毒方法を選びましょう。

簡単な0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方です。500mlのペットボトルに水を半分入れ、10ml（ペットボトルのキャップ2杯）の塩素系漂白剤（5～6%原液）を入れます。最後に水を入れ全体を500mlとして混ぜ合わせれば出来上がりです。使用する際には、十分に換気をしましょう。



＜健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受け付けています＞  
待ち時間が少なく、スムーズに受診できます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

電話 0765-22-1354（平日9：00～16：00）

FAX 0120-935-631

当院では24時間救急患者様の受け入れを行っております。症状を自覚した時は、我慢をせず、速やかな受診をお勧めします。

発熱等の症状のある方は、まずは電話で連絡をお願いいたします。

電話 0765-22-1280（病院代表）